

---

# 最強な転生者

式滝

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

最強な転生者

### 【Nコード】

N3107Y

### 【作者名】

式滝

### 【あらすじ】

神のミスで死ぬはずの中学生を助けた男の転生物語処女作のうえ駄文なので温かい目で見てください。

## プロローグ（前書き）

どうも作者の式滝です長い駄文になってしまいましたのですがどうかおつきあいください。

## プロローグ

「此処どこだ？」

たしか中学生らしき子を助けてかわりに、トラックにはねられたはずだよな？もしかして？テンプレ的なやつか？死後の世界ってほんと真っ白なのな。

そんなことを考えていると後ろから声がかかった。

「……」当たり前ですよ、此処は死後の世界えのとおりみちですから。あと普通のテンプレと少し違いますから。」

声をかけてきたのは黒髪ロングのわかりやすくいうと大和撫子な綺麗な女性だ。

「……」ふふふっ綺麗ななんてありがとうとおうございます。」

「あれ？心を読んだのか？それと少し違っつてどおいうことですか？後あんた誰だ？」

「……」はい読ませてもらいました。私の名前は邦子くにこです。少し違うのは神つまり私のミスで死ぬはずだったのは健君、という中学生のほうです。その子を助けてあなたは死にましたすいませんでしたそれとありがとうございました。おかげであの子はいきながえることができました本当にありがとうございます！！」

「へーそりゃあよかった。」

邦「そのお礼にどの世界かはえらべませんが漫画やアニメ、小説

なんかの世界に特典つきてんせいしてもらいます。で特典はすきなだけあげます。」

「それはいいんだけどよー俺自分の名前が思い出せねえんだけど、どうしてなんだ？」

そう実は今自分の名前だけが思い出せないんだ死んだ家族や、優しくしてくれた親戚や友人の名前は思い出せるのに何でだ？

邦「それは、死んだ魂はこの通り道を通るとき記憶が消えて別の命なる準備をするかで、そうなる早い段階でとめたから名前だけ消えるということだけですんだんです。」

「ふゝんありがとよ」

邦「いえ、もとはこちらのミスげえいんですから。それで特典はどうします？」

「そうだな？Get Backersの美堂 蛮と赤屍 蔵人の身体能力を合わせた感じであとその作品に出てくる人たちの才能と技術もくれついでに鬼魔羅も、あとほかの作品から型月の十二の試練と黄金律Aに李 書文の能力と直死の魔眼と・hack/NGUのハセヲの武器と能力にスケイスそれと戦国BASARA3の石田三成、風魔 わざと能力風魔のほうはでかい手裏剣もくれえお市の大魔の手をえるようにしてくれNEEDLESのスピードのフラグメントと重力のフラグメントと振動を操るフラグメント、めだかボックスから暗器術、西尾 維新さんの作品で忍法足軽と骨肉細工それと斬刀と絶刀の特性を合わせた刀を一本でもって伝勇伝から複写眼最後にレンタルマギカの妖精眼。」

邦「すごい頼みましたねせっかくですから能力のデメットを消して魔力や氣などのエネルギーがある世界ではそうゆうのを無限にしますね、でもすごいチートですねとくに速さ、もう光速並みの速さですよ。」

「いや、黄猿さんも速さは重さでいつてるしあたらなければどうということはないという名言もありますから。あっそれとしばらく力の特訓をさえてもらえるか？いきなりいつて使えきれるかどうかわかんねーから。」

邦「いいですよそのドアからどうぞきがすんだらでてきてください、おおくりしますから。」

いわれたほうを見たらド　えもんのどこで　ドアがあつた。

「ありがとう最後にひとつ質問いいか？」

邦「はいなんですか？」

「あんたらの世界ってどんなとこ漫画やアニメとかしってるってことはそういうんがあるんだろ？」

邦「わかりやすいえば、まかでみWAっしよい！みたいなせかいです。」

「マジ？」

邦「マジです！たのしいですよ。」

神様ってあんなにはっちゃけてるんだと驚きながらどこでもドア

をくぐった。

## プロローグ（後書き）

主人公の名前は次回書きます。



## 第一話 拾われました（前書き）

前回の予告どおり主人公の名前が判明します。

## 第一話 拾われました

side 修行部屋

いや〜修行楽しかったあつども　です前回から2000年ほど修行をしていました。最初は普通の修行だったのですが途中から漫画やアニメの技の練習をしていましたら七夜の体術とアサシンの燕返しができるようになりました。そして銃の扱いが想像よりうまくできるようになりました。銃関係はハセヲしかないはずなのに（できないはずの狙撃を20キロ先の雀を打ち落とせたりもした）そのあと氣や魔力の効率のいい運用方法を考え練習した。ちなみに魔法は使ったことが無いのでつかえない後で銃のことを邦子（神）に聞こうと考えながら修行部屋を出た。

### 最初の白い空間

「お〜い邦子転生する前にいくつか質問いいか？」

邦子「はい！なんでしょうか？」

「それほどうまくないはずの銃の扱いがうまくできたのは何でだ？」

邦「ああ〜それは出すね美堂　蛮のバトルの才能でブースとされいますからね、ほかにも芸術や知識も向上してるはずですよ。それにほかの能力どうしも相乗こうかであがっているはずですよ。」

あ〜だから特典に無い技が使えるようになったのか

「あと転生する場所は本当に割らないのか？」

やっぱりこいこのはいきさきがわからないのはふわんだな。

邦「すいません今はどうしてもわからないんです。おわびとってはなんですが、必要なものがあつたら遠慮なくこれんらくください電話をかける振りして頭の中で私を呼んでくださいそうしたらつながりますので。」

「なにからなにまでありがとう質問は以上だ始めてくれ。」

邦「それじゃあおげんきで。」

邦子がそういうと俺の後ろに別のドアが現れた

「おう縁があつたらまた会おう。」

そういつて俺がドアノブをまわすと。

バキッ！      パカッ！

ドアノブが壊れ足元に穴が開いた。

そして俺は落ちていった。

s i d e   e n d

邦子 s i d e    最初の白い空間

邦「とうとういつてしまいましたたねさてあの方はいったいどこに行

ってしまっただけでしょうか？」

とつぶやいている間についたようだ

邦「え」と魔法に氣、魔法世界と正義の魔法使い……ネギま！のせかいですねあの人はずいぶん大変なところに行きましたね。」

まああれだけチートな能力を持っているんですから大丈夫でしょう。

邦子 side end

side 京都の森

「オギヤー？（あれここどだ、てか赤ん坊のスタートかよ）」

そして周りを見ると木、木、木わかりやすくいうと森である。

「オギヤツ？オツオギヤー！オギヤー……！！（俺捨て子？まっまずいだれかひろて……！！）」

side end

詠春 side 京都の森

紅き翼の面々が別れて早三年、私が森の中を散歩していたら赤ん坊の泣き声が聞こえた。

詠春「ん？こつちか？」

いつてみるとやはり赤ん坊うが捨てられていた。それにこの赤ん坊魔力はナギ、氣はジャックを大きく上回っていた。もとよりみすてては置けないと思いこの子を引き取ることにした。

詠「そついえばおまえ名前が無いな・・・よし！お前の名は亮、  
近衛 亮だ。」

詠春 side end

## 第一話 拾われました（後書き）

亮は・h a c k / G Uの小説でハセヲのリアルの名前です。

アンケートです斬刀と絶刀の合わさった刀の名前を募集します。

## 第二話 色々変わりました（前書き）

遅くなりましたアンケートは終了いたしました。

## 第二話 色々変わりました

亮side 近衛家

どーもー九年前に拾われた近衛 亮です。時間が進んだのはさくしやの腕が無いからです

すいません。(by作者)

まあ作者はほつ<sup>バカ</sup>といて。わかっていると思いますが一応報告します。此処はネギま！世界です。そして、俺は近衛の養子です二年前に木乃香<sup>このか</sup>が生まれました。四年後には刹那が父さん(詠春)につれてこられた。数ヶ月ごろには木乃香が川に落ちそうになっているのを弦術で助けたのを父さんにせつなをとうして報告された。いい機会だから体のことや力のことを怖がれる覚悟で打ち明けたその後父さんは怖がらず。

詠「よく話してくれましたね。」

といって優しく抱きしめてくれた。そしてその十日後から刹那と一緒に神鳴流を習い始めた。チートな才能のおかげで1年でマスタ―した。それから父さんと一緒になつて刹那を鍛えた。たまに白目をむいていたときもあつたがたぶん大丈夫だろう。まあそのおかげでいまは原作開始時と大して変わらぬ実力を身につけた。

そして現在俺はある計画を実行しようとしていた。その計画とは「ネギ改造計画(ついでにカモモ)」なぜこの計画を実行しようと考えたかという。最初のころのネギが気に入らないからです。最後のほうのネギは。嫌いではないのでアンチじゃなくて改造することにきめました。ちなみに走っていきます無敵超人より早く走れま



すから海の上もゆうですスピードのフラグメント＋忍法足輕＋圏境Aもつかうので光の速さでイギリスに不法入国できます。それじゃあいつてきます。

## イギリスのウェールズ

亮「きたいいけど・・・どこにあるんだろう？」

迷いました。よく考えたら原作じゃあウェールズの山奥としか書いてなかった。一時間くらい迷って魔里人の能力で動物に聞けばいいと思い近くを飛んでいる鳥に場所を聞いてやっとなつた。

亮「え」とネギ、ネギ、葱、ネギおっ居た。」

視線の先に二歳のネギ発見はなしかけよ。

亮「おいそこの君。」

ネギside 村の少し外れ

僕はネギ・スプリングフィールド今日はアーニャとネカネお姉ちゃんはどうして出かけているので一人で遊んでいます。そしたらいきなり声をかけられました。

？「おいそこのきみ。」

それが僕とのちに僕の師父になる人物とのはじめてのであいだった。

## 第二話 色々変わりました（後書き）

また次回も見てください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3107y/>

---

最強な転生者

2011年11月17日18時44分発行